

# ガス水道局の調査委、「公取委への通知が適当」と判断 疑惑解明に向け市議会が百条調査特別委員会を設置するかどうかが審議の焦点



建設企業常任委員協議会が17日開かれ、ガス水道局所管の本支管工事に伴う談合疑惑の調査報告と審議が行われました。

報告は12月19日にガス水道局に設置された談合情報等調査委員会による調査

の最終報告です。それによると、調査委員会は「書類に関する調査結果等から、談合の有無は判断できないが、録音データ1（私が提出した2つの録音データのうち最初に提出したもの）に関する調査には、談合の存在を疑う発言があることから、公正取引委員会へ通知することが適当」と判断しました。しかし、官製談合の可能性については、「調査の結果、予定価格や最低制限価格または設計額の全部または一部を業者など部外の第三者に漏えいした者は認められなかった」と結論付けました。

調査報告を聴いて、1月24日の中間報告以降、録音データなどの聞き取り調査を再度行う等、一定の前進面があるなど感じました。とくに録音データ1にあった、「談合」「調整の中に盛り込む」「一本ずつ分け与える」などの発言について、いま一度聞き取りをやり、確認したことは重要です。ただ、「一位不動」の入札結果や談合の日時、場所など談合を疑うに十分な資料が提出された中で、書類の調査からは

「談合の有無は判断できない」とすることには不満が残りました。いったいどこまで資料を出せばいいのでしょうか。私は番外で発言を求め、「四日市市発注の水道用鑄鉄管入札談合に係る損害賠償請求住民訴訟事件」での判決文の一部を読み上げ、「一位不動」の入札結果と入札に関する談合日時、場所の記録と符合すれば、少なくとも「談合が疑われる」と判断してもいいのではないかと追及しました。ガス水道局長は「調査は可能な限りやりましたが、その結果、判断できないということになった。（後は）公取委の判断にゆだねる」と答えました。

委員協議会審査では本城議員などが頑張りました。「市民からも（いまの調査のやり方について）疑問の声が上がっている。入札監視委員会等第三者機関に調査してもらい、ワンクッションおいて通知してもいいのではないのか」「公取委にいつ通知するのか。その場合、談合に関する資料を市はすべて提出するのかどうするか」「談合情報等調査対応事務処理要領などを含めた改革が必要ではないか」などと発言しました。これに対して行政側は「内部調査を繰り返し返しても同じ結論になってしまうので公取委へ通知して進めることになりました。入札監視委員会には談合の調査権はない」などと答えました。

委員協議会でガ

## 上越地域消防組合のホームページ充実へ



上越地域消防事務組合のホームページが充実される見込みとなりました。

同組合のホームページは今年リニューアルされましたが、組合の活動の土台となる整備計画や予算、条例、消防組合議会の様子など大事なことが掲載されていません。私は、19日の組合議会定例会でこの問題を取りあげました。答弁に立った浅野消防長は、検討を約束しました。（写真は消防組合のホームページのトップ画面）



【オカラ】漢字では「雪花菜」と書くそうです。素敵な名前ですね。オカラは豆腐を作る時のしぼりカスですが、栄養的にはとてもすぐれた食品として活用されています。写真は吉川区泉で「ちゃじょっぺ」としていただいたものです。

水道局は、①公取委への通知は上越市長名で速やかに行う、②今後の入札契約事務については、指名に関する措置を含め、現在検討中。また、談合防止措置として、予定価格等の管理の徹底、工事内訳書の提出義務化、誓約書の徴収を考えていることを明らかにしました。これらの点は3月議会で議論したいと思っています。

今回の談合疑惑に関してはこれで一件落着というわけにはいきません。数多くの疑問があり、疑惑が解明されていないなかで議会が持っている調査権を生かさないとしたら、市民からは「議会は何をやっているのか」という声が出るでしょう。私たち議員団では12月18日、滝澤議長に百条調査委員会の設置を申し入れました。その際、議長は「まず行政側の調査を見てから判断したい」とのべていました。議長に早急な決断を求めたいと思います。

除雪機を牛舎へと移動させているときのことでした。右側の雪壁の奥に青いものが光って見えたのです。何だろうと思ひ、すぐに除雪機を止め、奥の方をのぞきました。そこにあつたのは雪に囲まれた小さな青い空間でした。

見た瞬間、うれしくなりました。青い、きれいな雪を見たのは初めてです。そしてまわりをぐるりと見渡すと、青い空間は一か所だけではありませんでした。雪と雪が重なって洞窟のようになっているところ、棒でつつかれてきたようなくぼみなど、あちこちにたくさんの青い空間ができていたのです。大きさは握りこぶしほどのものからピンポン玉くらいのもまで様々でした。

この日は今冬一番の大雪となりました。朝から、雪がもこもこと降り積もり、除雪ドーザーはお昼過ぎまでに二度も出動しました。当然、道路の端っこには雪の山ができます。高さは五〇センチから一メートルほどです。機械で押しまくられた雪は高く積まれたままのものもあれば、道路に割れて落ちたものもあります。

ここまでなら、いつも見る風景です。でもこの日は違いました。一つの雪の塊（かたまり）と別の塊の間など雪に囲まれてきた空間の色が違ったのです。

私が青い雪の空間を見つけたのは午後三時過ぎでした。アノラックのポケットからデジタルカメラを取り出し、青い空間のできたところを次々と移動しながら何枚もカメラに収めました。太陽の光と雪がつくりだす光景ですから、ひよっとすれば、すぐに見られなくなるかもしれないと心配しながらシャッターを押し続けました。

青い雪の空間を見たときの胸のドキメキは自分のものだけにしておくのはもったいない。家に戻った私はすぐ妻に雪の画像を見せ、「びっくりしたよ。雪が青くなっている」と伝えました。すると妻は、「きれいだね。水分を多く含んだ雪だということね」とあっさりした顔で言うのです。驚かせてあげようと思っていたのですが、妻は私よりも前に青い雪を見ていたのではありません。

この日は夕方、近くに住むカメラマンの平田さんと会う約束をしていました。次に発行するエッセイ集の表紙写真をお願いしてあつたのです。平田さんのところでも開口一番、青い雪の空間の話をしました。平田さんは、「春が近いんだね」と言われました。春が近くなつてから降る水分の多い雪がどんな色を見せてくれるかなど雪の表情を熟知している人ならではの言葉でした。

家に戻ったのは夕方の五時過ぎだったと思いますが、パソコンを使い、青い雪の画像を発信しました。多くの人たちに青い雪を見てもらいたいと思ったからです。数多くの画像の中から、ちょうど水の中の大きな岩のそばにできた空間といった感じの画像を選びました。これが青い空間をもっとよくとらえた画像だったのです。

発信したら、その直後から感想を寄せていただきました。「今日の雪は青かつたですわね」「結晶の関係ですかね、今日はきれいな青でしたわね」「青い雪は見たことないニャー。氷河の青氷は見たけどニャー。何か混じっているのかニャー」。同じ上越市内から、あるいは新潟市の友人からのものです。そして東京都在住のMさんからも「こちらもその色でしたー」という知らせが入ってきました。

今回の雪、私たちのところでは喜びを与えてくれましたが、いつもはほとんど降ることのない関東や甲信などの地域では記録的な降雪となり、大きな被害をもたらしました。青い雪とともに記憶しておきたいと思ひます。

## 公民館の運営、配置基本方針案の修正方向出る



文教経済常任委員会は18日、「市立公民館の運営及び配置に関する基本方針（案）」についての所管事務調査を行いました。（左は上野委員）

公民館活動の再構築と施設の再配置をめざした当初案が出たのは昨年の3月でした。当初案には、市議会文教経済常任委員会や柿崎区、頸城区地域協議会などから強い反発が出たことから、市教委ではこれまで見直し作業を進めてきました。この日はその見直し、修正のポイントが示され、議論が行われました。

説明にあたった野澤教育部長は、「これまでの市民との意見交換の中で、それぞれの公民館によって実情が大きく異なっていることが改めてわかった」「『地域の実情に応じて柔軟にできるように対応できる方針とする』という観点から、すべての項目の内容を見直したい」とのべまし

た。主な修正内容は、地区公民館の運営体制は地域が実情に併せて構成できる柔軟な仕組みとする、分館施設（建物）の配置については公民館独自の基準を設けないなどの5点です。これらについては今後、社会教育委員会による検討を経て、3月中にはまとめたことでのことでした。

注目したのは、従来からの運営組織があれば、新たに運営委員会を置くことはないとしたことや、**現行の分館は当面維持する**としたことなど市民との意見交換で出された意見をかなり採り入れたことです。しかし、もう少し具体的に見てみないと評価できないものもあります。これまで市民が心配した主な点は、「地域が生きていくための活動拠点がなくなるのではないか」「施設の再配置などでより安上がりの行政改革が進められ、社会教育活動が後退するのでは」ということでした。修正された方針がどんなものになっていくか注目し、党議員団としても対案を出すべく頑張りたいと思ひます。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	2月12日(水)	2月19日(水)
上越南消防署	0.030	0.036
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.046	0.050
頸北消防署	0.060	0.056
頸南消防署	0.047	0.057
東頸消防署	0.053	0.040
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.047	0.057